

異年齢保育の魅力

11月5日（火）に監査をおこないました。その際、園の特色として法人が大切にしている『異年齢保育』についてお話しをしています。その魅力を大きく分けて2つのポイントでお伝えします。

【共に育ちあうことが出来る】

年上、年下どちらの子どもも異年齢保育を通じ、相手に教えること、学ぶことがあります。

子ども達はお互いに影響し合いながら共に成長していくことが出来ます。

例えば、以下のような成長が考えられます。

<年下の子は…>

- ・年上の子への憧れから「自分もやってみたい」という意欲的な態度が培われる。
- ・年上の子と関わることで順序性や、順番を待つこと、譲り合って遊ぶなどのルールを知ることが出来、自制心や社会性が養われる。

<年上の子は…>

- ・年上の子は年下のお手本となり、自然とリーダーシップを発揮する機会が増える。これにより、自分が周りに与える影響を理解し、責任感が育まれる。
- ・年下の子に対してお手伝いやお世話をすることで思いやる気持ちや、優しくすることが自然に出来るようになり、自信や自己肯定感につながる。

【年齢の枠を越え友だちが出来る】

異年齢保育では、年齢を超えた関わりを通じて、幅広い関係が築かれます。子ども達は、年齢に関係なく友達と協力し合い、楽しい時間を過ごすことで、社会性やコミュニケーション能力が向上します。園内で友達が増えることは、日常生活や行事の中でも子ども達にとって大きな喜びとなり、自信や安心感につながります。

千駄ヶ谷りとりぱんぷきんずは、今年で開園5年目を迎えます。現在のマジョラムさんたちは、小さい頃に年上のお友達からたくさんの愛情とお世話を受け、その嬉しさが今の姿に表れています。これからも、子ども達が安心して成長出来るよう、安定した異年齢保育を続けてまいります。

（赤塚）

日頃の異年齢の様子をご紹介します



英語や散歩など、
さまざまな活動を
異年齢で楽しんで
います！



先月から年長さんのお手伝いが始まりました！
メリッサクラスに行き、日中や午後の活動などを
一緒に過ごしています。
着脱や手洗いの援助を率先しておこなう姿が
見られます♪

